

EPA メール本文：コンピュータ基準 V6.0
試験方法の一部変更について（2011年8月12日）

====EPA メール概要和訳=====

ENERGY STAR コンピュータ製造事業者および他の関係者各位：

- ENERGY STAR チームは、データ収集用試験方法の一体型ディスプレイに関する部分を変更する必要があると気づいた。
- この変更は、一体型デスクトップおよびラップトップコンピュータについてディスプレイをオン状態にして試験するという、選択肢の検討に役立つものとなる。
- 具体的な変更内容は以下に示すとおりであり、ディスプレイに関する IEC-62087 試験方法が取り入れられている。
- Ecma383 における該当箇所は、第 6.2.4 項「短期アイドル (Short Idle)」および第 6.1 節「試験設定 (Test Setup)」である。
 - 1) Ecma383 に示されているとおり、自動明るさ調節および自動調光の機能を無効にする。
 - 2) 市販の輝度(nit)計測器を使用して、ディスプレイの明るさをデスクトップの場合には 150 nit、携帯型機器の場合には 90 nit に設定する。
 - 3) 70%グレイ背景ではなく、添付の画像を機器の画面上に表示する。
 - 4) 通常どおりに Ecma383 の手順を続行する。
- データ収集用試験に対する上記変更について質問または懸念がある場合には、EPAのRJ Meyers (Meyers.Robert@epa.govまたは 202-343-9923) に連絡すること。

=====